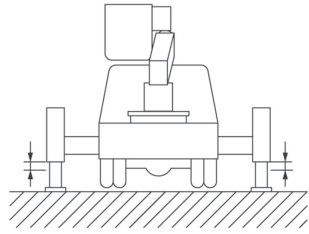
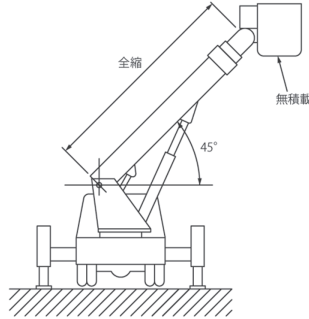
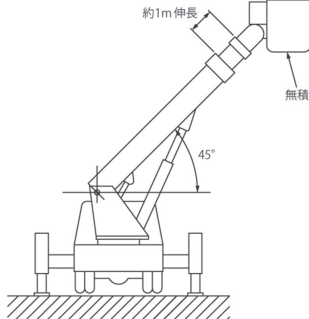


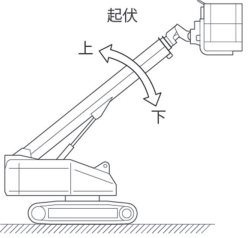
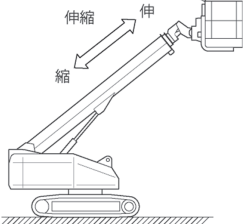
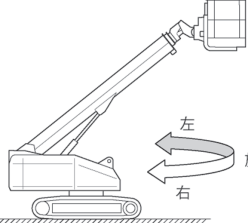
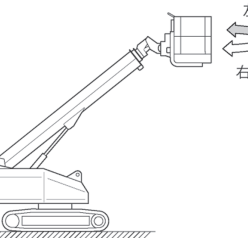
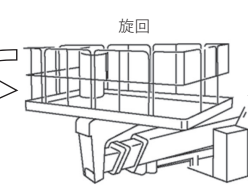
アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SP10C1SN	SP12C1SN	SP19CSM	SP21CSM
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD
		最大作業床高さ（m）			9.9	12	19.0	21.0
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1000	1000	950	950
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400	2400	1750	1750
		弁すき間	吸気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25
			排気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.24 (33)	3.24 (33)	3.43 (35)	3.43 (35)
		燃料噴射圧力		Mpa (kgf/cm ²)	—	—	—	—
		※回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～13	10～13	10～13	10～13
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	空気圧	—	ノーバンク	ノーバンク	ノーバンク	ノーバンク
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—
作業装置	ブーム	最低停止保持勾配		°	15.0	15.0	12.0	12.0
		スライディングパッド部がた	上下方向	mm	0.5～1.0	0.5～1.0	0.6～1.1	0.6～1.1
				左右方向	上側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9
		下側	mm		0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8	6～7
	スライディングパッド		摩耗量	mm	2.0	2.0	2.0	2.0
	油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)
ポンプ回転数			低速	min ⁻¹	1400	1400	1400	1400
			高速	min ⁻¹	2400	2400	1750	1750
※作動油			—	VG22	VG22	VG22	VG22	
油圧シリンダー		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10
		自然降下量 ※1	起伏	mm/10min	2	2	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2	2
			平衡装置	mm/10min	2	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
		左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
	高速走行規制	ブーム姿勢	起伏角	起伏10度以上		起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上
総合テスト	作業範囲 規制装置	作業範囲規制 ※9		—	—	—	○	○
		モーメントリミッタ ※9		—	—	—	—	—
	測定方法 ※2	起伏（リフト）	上	s	40±6	40±6	40±6	40±6
			下	s	40±6	40±6	40±6	40±6
		伸縮	伸	s	20±5	25±5	35±5	40±6
			縮	s	20±5	25±5	30±5	40±6
		旋回	右	s	60±9	60±9	80±12	80±12
			左	s	60±9	60±9	80±12	80±12
		バスケット首振	右	s	15±3	15±3	15±4	15±4
			左	s	15±3	15±3	15±4	15±4
走行	高	km/h	4±0.4	4±0.4	4±0.6	4±0.6		
	低	km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	1±0.2	1±0.2		

ホイール式（内燃機式）

SP25CSM	SP300	SP350	WZ09ASM					
STD	STD	STD	STD					
25.0	30.0	35.0	9.2					
検 査 基 準 値								
950	1000	1000	950					
1750	2000	2000	1750					
0.15～0.25	0.4	0.4	0.15～0.25					
0.15～0.25	0.4	0.4	0.15～0.25					
3.43 (35)	3.0 (31)	3.0 (31)	3.43 (35)					
— (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	22.1 (225)					
250	200	200	250					
10～13	8～12	8～12	10～13					
98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)					
ノーバンク	ノーバンク	ノーバンク	ノーバンク					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
12.0	7.5	7.0	15.0					
0.6～1.1	0.5～3.0	0.5～3.0	1.2～1.7					
1～2	1.1～2.9	1.1～2.9	0.2～1.0					
6～7	1.1～2.9	1.1～2.9	0.2～1.0					
2.0	2.0	2.0	2.0					
20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)					
1400	1400	1400	1250					
1750	2000	2000	1700					
VG22	VG22	VG22	VG22					
40±10	40±10	40±10	40±10					
2	2	2	2					
2	2	2	2					
2	2	2	2					
3.0±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.0±0.5					
3.0±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.0±0.5					
起伏5度以上	起伏3度以上	起伏3度以上	格納姿勢以外					
ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外					
○	○	○	—					
—	—	—	○					
50±7	40±6	45±7	30±6					
50±7	40±6	45±7	35±6					
60±9	70±10.5	80±12	30±6					
60±9	45±6.8	480±12	30±6					
94±14	60±6	90±14	—					
94±14	60±6	90±14	—					
15±4	18±5	20±6	45±9					
15±4	18±5	20±6	45±9					
4±0.6	4±1.2	4±1.2	7.2±0.8					
1±0.2	0.5±0.15	0.5±0.15	1.2±0.2					

※1. シリンダー自然降下量 1) ジャッキシリンダー 【測定要領】 (1) 車体を水平堅度土上にセットする。 (2) エンジン停止させる (3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く (4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする (5) 1分後、0点を合わせる (6) 10分経過させる (7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 【判定基準】 ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内／10 分	
2) 起伏シリンダー 【測定要領】 (1) ブームを起伏各 45° にセットする (2) エンジン停止させる (3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする (4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる (5) 10 分経過させる (6) 自然降下量を測定する 【判定基準】 ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内／10 分	
3) 伸縮シリンダー 【測定要領】 (1) ブームを起伏各 45° にセットする (2) ブーム長さを 1m にセットする (3) エンジン停止させる (4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする (4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる (5) 10 分経過させる (6) 自然降下量を測定する 【判定基準】 第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内／10 分	

※2. 速度測定方法 【測定要領】 (1) 車体を水平堅度土上にセットする。 (2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する (3) 油温は 40±10℃で行なう 1) ブーム起伏速度 (1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる (2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する	
2) ブーム伸縮速度 (1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる (2) 伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する (3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3) ブーム旋回速度 (1) ブームを全縮、起エンドの状態にする (2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する (3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4) 首振り速度 (1) 首振操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する (2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5) プラットフォーム旋回速度 (1) ブームを全縮、起エンドの状態にする (2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する (3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

6) ブーム起伏速度 (1) ブーム全縮状態・首振り格納、起伏MAX位置から起伏下操作により「下」→起伏水平停止 ($0 \pm 1^\circ$) 位置までの時間を測定する。 (2) 起伏水平位置より、起伏上操作にて「上」→起伏MAX位置までの時間を測定する	
※3. 走行速度測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を行う	
※4. 走行直進性測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 最高速度で約10m走行させ曲がった距離を測定する	

※5. 履帯たわみ測定方法 [測定要領] (1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする (2) 第1ブーム先端部に支柱セットする (3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm~50mm浮かせたわみ量の測定をする 1) SR10CSM、SR12CSM 2) SR19CSM/21CSM/21CJM	
※6. 小型履帯たわみ測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にフレームを上げた (60 mm以上) 状態保ちクローラ▲合マークを本気中央下側に合わせ測定	
※7. 走行駆動用チェーンたわみ測定方法 1) スプロケット上側チェーンを張るように、前進及び後進して停止 2) 下側チェーンスプロケット間の中央位置を $9 \pm 1 \text{ kgf}$ にて押し引きし、S-S' 間寸法を測定してください。	チェーン張り基準

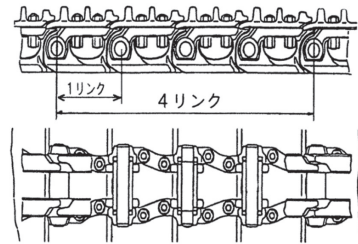
アイチコーポレーション

※8. 鉄製履帯リンクピッチ測定方法

[測定要領]

- 1) マスタピンから1～2リンク離れた4リンク分を測定する

注: シューリンクを張った状態で測定すること。



※9. 作業半径測定方法

[検査機器]

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行わないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

